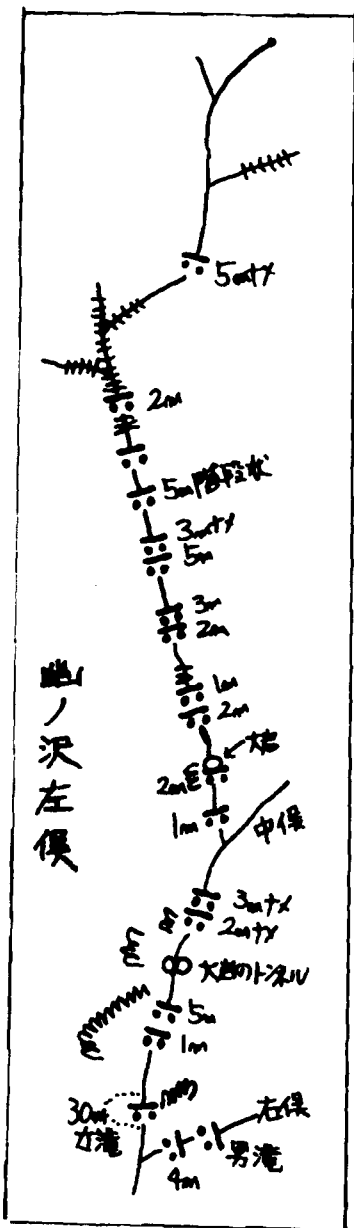


幽ノ沢左俣 1982年8月22日
Li



滝沢川林道終点から踏跡をたどり、一気に女滝まで入る。ここで右俣に入る宍戸・小野のパーティと別れて、左俣へとルートをとる。女滝は30mほどの落差をもち、ややハング気味。とても直登はできない。左岸には岸壁がそそり立ち、ちょっとやさそつとで捲けそうにない。幸いなことに、右岸からは比較的楽に捲ける。まず釜をわたり、斜め上に向かうバンドをたどって、ルンゼに出る。そこから草付をトラバースするような感じで樹林帯に入り込み、小尾根をたどって滝の上に出る。

女滝の上部はおだやかな流れとなるが、右岸には岸壁がそそり立っている。やがて5mの滝。ここだけ岩質が異なり、黒っぽい。スタンスが豊富で、左岸を直登する。このあと岩はもとの花崗岩質に戻る。やがて行く手に大岩が立ちふさがる。右岸の大岩にルートを求めるが、ちょっと強引な腕力登攀となった。登りきると、今度は大岩のトンネル。そしてその上部も大岩が行く手をふさぐ。幸い流木がひっかかっていたので、木登りの要領で岩の上に出る。このあと小滝2つを越えると、中俣出合である。我々のルートは左俣である。

左俣は明るい沢で、右岸は草付と灌木帯、スラブの交錯する斜面が続く。滝は5m滝2本をはじめとした小滝ばかりで、いずれも楽に直登できる。ただ、

中俣出合から入ったばかりの所にある大岩の脇の深い釜の突破に、ちょっと苦労した。

ナメが出てくると、もう源流である。二俣を右に入り、小さくなった流れをたどる。最後は急傾斜となるが、10分程のヤブこぎで、尾根に出る。

(記)

[タイム] 林道終点(8:00)→女滝(8:40)→中俣出合(9:40)→左俣終了(11:15)